

県立遠野病院が 人工透析装置を増設し、 患者の負担を軽減。

人工透析治療を行う市内の医院が平成27年2月に閉院し、患者が市外への通院を余儀なくされていた問題を解決するため、県立遠野病院(郷右近祐司院長)は受け入れ態勢を充実させました。本年1月には、人工透析室の改修が完了し、人工透析装置を4台追加。新規の利用希望者への相談も始めています。

人工透析治療は、腎不全の末期症状において、低下した腎機能の代役を果たす治療のこと。患者は、週に3回程度、4～5時間かけて治療を受ける必要があります。市内医院に通院していた患者は31人で、閉院に伴い釜石市や北上市などの医療機関への通院を余儀なくされていました。

遠野病院は、事態が発生した直後の平成27年3月に人工透析装置を3台増設。13人の高齢患者を受け入れていました。その後、透析室の改修工事に着手。遠野病院の受け入れ態勢の充実に伴い、多くの患者が市内で治療を受けられるようになりました。

本田市市長は「県医療局の迅速な対応のおかげで、患者の負担を軽減することができた」と感謝。患者とその家族で組織する遠野腎友会の前角地秀幸会長は「遠野病院の増設は、患者にとって本当にありがたいこと。関係者の皆さんには感謝の気持ちで一杯です」と安堵の表情を浮かべました。



上/改修工事が完了した人工透析室 右/透析装置



2月15・16日 東北ツーリズム大学遠野キャンパス

「食」で交流を育もう

東北の農山村の魅力を全国に発信する同大学の遠野キャンパスが2日間開かれ、市内外の観光関係者ら70人が駆け付けました。今回のテーマは「食」。シンポジウムでは、東洋大社会学部の青木辰司教授と地元の実践者らが意見交換したほか、現地視察では青笹町の上閉伊酒造を訪れ、地酒の魅力と可能性について理解を深めました。



シンポジウムで語り合う参加者

2月18日 ひなまんじゅうづくり教室

郷土に伝わる料理を学ぼう

子ども達に郷土料理と触れ合う機会を持ってもらうため、遠野児童館で同教室(遠野町地域教育委協議会・遠野町地域づくり連絡協議会主催)が開催されました。参加した児童11人は、初めての作業にも積極的に取り組み、食紅で色を付けたり、花やウサギの形にしたりとひなまんじゅう作りを楽しみました。



「花を作りたい」と積極的に参加

2月15日 平成28年度「自衛隊入隊予定者激励会」

国の平和を守る自衛官に

激励会はとびあ庁舎で開かれ、市と自衛隊関係者らから入隊予定者5人に激励の言葉が贈られました。入隊予定者は、(写真左から)畑山大輔さん(上組町)、遠山大政さん(遠野町)、長洞雛さん(松崎町)、富松誠海さん(小友町)、阿部駿彦さん(土淵町)。5人は日本と世界の平和を守る自衛官になることを決意しました。



決意を新たに
する
自衛隊入隊予定者

2月5日 第34回清養園氷上まつり

天然リンクをカいっぱい滑走

氷上まつり(市主催)は、清養園保養センタースケート場で開催され、地域住民ら320人が参加しました。始めに、スピードスケートのデモンストレーションとして市スケート



元気に滑りだす子ども達

協会の多田浩輔さんが華麗な滑走を披露。その後、スケートレースが行われ、ゴール前の接戦に観客からは熱い声援が送られました。

2月7日 遠野緑峰高が伝統野菜の試食会を開催

遠野早池峰菜に舌鼓

遠野緑峰高の野菜研究班・食農研究班と遠野伝統野菜研究会は、遠野の伝統野菜「遠野早池峰菜」を使った料理の試食会を開きました。生徒が考案したレシピを中心に、早池峰菜を調理。目張り寿司やひつまみ汁など、早池峰菜をふんだんに使った料理と一緒に調理し、その味を確かめていました。



早池峰菜を練りこんだ生地を作成中!

2月12日 第17回遠野どべっこ祭り

心も体も温まる一杯

南部曲り家の中で「どぶろく」を楽しむ「どべっこ祭り」が遠野ふるさと村で開催されました。遠野ふるさと村オリジナルのどぶろくを飲み、参加者は遠野ならではの味に酔いしれていました。キジそば・カモひつまみなど遠野の郷土料理がお膳を彩り、取材当日は伝統芸能の平倉神楽が「鶴舞」など4演目を披露。神事の権現様にかまれると厄除け

になると説明を受けた参加者は、我も我もと列をつくりました。このほか、語り部による昔話も披露され、参加者は冬の遠野を存分に満喫していました。



3

1月26日 長寿の森吉祥園でお祝い会

上郷町の菊池ちよ子さん100歳

菊池さんの100歳を祝う会は、入所している養護老人ホーム長寿の森吉祥園で開かれました。飛内副市長と施設職員から花束や記念品が手渡されると、菊池さんはにっこりとほほえみしました。菊池さんは釜石市出身で、38歳のときに故・万次郎さんと結婚。農業に励み家計を支えました。現在は、施設で穏やかに過ごしています。



副市長から花束を受け取りほほえむ菊池さん

2月4日 第60回記念市スキー大会・赤羽根雪まつり

最速目指し果敢な滑り

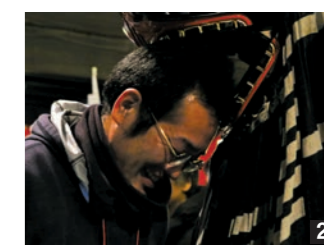
上郷町の赤羽根スキー場で開かれた大会(市体育協会など主催)には、市内外から27人が出場。スキーとスノーボードの大回転と回転競技が行われ、参加者は果敢な滑りを披露しました(大会結果はP6)。この日は、ソリのタイムレースや餅まき、抽選会も開催。会場は、訪れた多くの親子連れやスキーヤーでにぎわいました。



大回転で優勝した鳥屋部航平君



1_優雅に舞う平倉神楽の「鶴舞」 2_権現様に頭を差し出す参加者 3_ふるさと村で仕込んだどぶろく



2